





## 「アイデアのたまご」提案書

<b>提案事業名</b>	1CC (ワンシーシー) の勇気プロジェクト ～10万人の「捨てない心」で印西を「世界モデルの街へ」～
<b>地域の課題</b> (日ごろ感じている地域の課題 や住民ニーズ)	国道 464 号線をはじめとする市内の美観維持には、行政による「ゴミ拾い」等の対処療法だけでは限界があります。アンケート (205 名回答) では、約 9 割の市民が「現状より清々しく、誇らしい道になってほしい」と願う一方で、個人の力では何を変えられるかわからないという無力感や、地域の景観に対する当事者意識の希薄化が課題となっています。
<b>アイデアのたまご</b> (上記の課題を解決するための 事業概要)	<p>一人の大きな活動より、一人ひとりの「1CC(ワンシーシー)」の小さな勇気を集め、シチズンプライド(市民の誇り)を醸成するプロジェクトです。</p> <p>① <b>「捨てない心」を育む意識啓発:</b> 日本古来の「場を清める」文化を大切に、ゴミを拾うだけでなく「捨てない空気感」を地域全体で作ります。神社やご神木の周りがゴミだらけだったら誰も清々しいと思わないのと同じ。</p> <p>② <b>1CC アクションの可視化:</b> アンケートで挙げた「自分に関わる場所の美しさを意識する」「ついでにゴミを一つ拾う」といった小さな勇気を、SNS や掲示物で共有し、称賛し合う仕組みを作ります。</p> <p>③ <b>住民・企業・行政の連携プラットフォーム:</b> 沿道企業や行政と手を取り合い、印西を「世界モデルの清々しい街」にするための対話の場を設けます。</p>
<b>市との協働により得られる効果</b>	市がこの「1CC の勇気」を公認し連携することで、一部のボランティアだけでなく、一般住民や企業を巻き込んだ大きなムーブメントになります。結果として、 <b>清掃コストの削減</b> につながるだけでなく、「この綺麗な街にゴミは似合わない」と市民が自ら思える <b>高いシチズンプライドを持つ街</b> へと進化する効果が期待できます

<p><b>役割分担のイメージ</b> (市民に期待される役割、市に期待される役割)</p>	<p><b>市民活動団体等:</b> ICCの勇気を集める広報・SNS運営、アンケートの継続実施と提言、市民参加型ワークショップの開催。</p> <p><b>市:</b> プロジェクトの趣旨への賛同と、広報紙・公式SNS等による周知協力 公共施設での掲示協力、および道路管理者(県等)との橋渡し。 「行政・企業・市民」の三者連携による対話の場づくり</p>
<p><b>その他</b> (登録の目的や協力・連携を求めたい団体など、上記以外に必要な事項を記入)</p>	<p>既に205名の市民から「自分にできるICCの勇気」が寄せられており、住民の熱意は実証済みです。この小さな勇気の連鎖を、印西市独自の「まちづくりモデル」として育てていきたいと考えています。</p>

**提案者情報**

<p><b>氏名または団体名</b></p>	<p>1ccプロジェクト</p>
<p><b>住所または団体所在地</b></p>	<p></p>
<p><b>連絡先</b></p>	<p>電話:  Eメール: inzai.1cc@gmail.com</p>
<p><b>公表可能情報</b> (公表できる番号に○を記入)</p>	<p><b>1. 氏名・団体名</b>   <b>2. 住所・団体所在地</b>   <b>3. 電話</b>   <b>4. Eメール</b></p>